



2020年11月9日

各 位

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 上田 孝
 (コード番号 7022 東証第1部)
 問合せ先責任者 執行役員企画部長 大門 淳
 (TEL 06-4803-6171)

2021年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ

2020年10月30日に公表しました「2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	45,000	△ 4,000	△ 4,100	△ 6,300	△ 192.62
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	49,805	△ 1,775	△ 1,710	△ 2,211	△ 67.87

公表の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難であることから未定としていましたが、当社子会社であるサノヤス造船株式会社の株式譲渡を決定したことから、現時点において入手可能な情報や予測に基づき連結業績予想を算定しましたので、公表いたします。

売上高は造船事業の譲渡が2021年2月28日のため11か月分のみ計上することに加え、受注船のドル建て船価が低く為替が円高傾向にあることや、海運市況や受注動向に鑑み新造船の建造ペースを調整したこと、M&T事業において全般的に受注・売上が低迷し、中でも遊園地営業が大きく落ち込んでいることから、45,000百万円(前年比9.6%減)の見込みです。利益面につきましては、原価低減、経費削減に努めましたが、売上高の減少により営業損失4,000百万円、経常損失4,100百万円を見込んでいます。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券売却益を計上したものの多額の造船事業売却損失を計上するため、6,300百万円の赤字を見込んでいます。(未確定外貨に係る為替レート的前提は1米ドル104.78円です。)

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 配当予想について

当社は、株主に対する利益還元を重要政策の一つとして考えております。一方、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響等に鑑みますと、事業収益の拡大と内部留保の確保等による財務基盤の強化が最重要課題であります。当期の配当予想につきましては、上記の方針を踏まえ、引き続き未定としております。

以上